



## ゴルゴ13が教える 海外安全対策⑥

危険を招く行動を慎み、  
自宅でも注意を怠るな！  
——安全な海外長期滞在のために



©さいとう・たかを

近年、旅行以外に、海外に住宅を構えて長期滞在する日本人が増えています。それにと  
もない、日本人が犯罪の標的となるリスクが  
増大しているといっても過言ではありません。

今回、ゴルゴの忠告に従わなかった一人の  
商社マンが、身代金目的で誘拐されました。  
海外に滞在する際には、危険を招く行動は慎  
み、たとえ自宅の中でも注意を怠らないよう  
にしましょう。

### 「安全のための三原則」を徹底し、 危険を予防する

海外での長期滞在では、自分と家族の安全  
は自分たちで守るという心構えが大切です。  
その上で、「安全のための三原則」に留意し  
て行動しましょう。

第一に、犯罪者は目立つ人物を標的にする  
ことが多く、華やかな服装や装飾品を身につ  
けないことが重要です。くわえて、SNS など  
で現地の政治・宗教・文化を批判することも  
危険を招く恐れがあります。くれぐれも目立  
つ行動は控えましょう。第二に、犯罪者にと  
って、行動パターンが定まっている人物も格  
好の標的。通勤・通学や買い物などのルー  
トや時間を不規則にすることで、自身の行  
動を予知されないようにしましょう。第三に、  
日常的に現地情勢の情報収集を行い、安全対  
策を定期的に見直すことが大切です。これら  
三原則を家族とも共有し、安全対策に努める

ことが大切です。

くわえて、海外に住所や居所を定めて三  
ヶ月以上滞在する場合は、在留届を日本大  
使館や総領事館に提出することが義務づけ  
られています。忘れずに提出しましょう。

### 住宅も常に狙われている！ 「三つの防衛線」を確認しよう

犯罪者は、周囲と比べて侵入が容易な住  
宅を標的とする傾向にあります。そのため、  
近隣住民がどのような安全対策をとってい  
るのかを確認し、それと同等以上の対策をす  
ることが重要です。特に、「三つの防衛線」を  
確認するとよいでしょう。

第一に、外塀は十分な高さか、門扉の鍵  
は頑丈かなどを確認しましょう。集合住宅  
の場合、玄関ロビーのセキュリティも重要  
です。第二に、住宅のドアや窓だけでなく、  
床下や屋根からの侵入にも注意が必要です。  
第三に、住宅内に侵入された場合に備えて、  
避難するための部屋を決め、助けを呼ぶた  
めの電話を室内に設置するようにしましょう。

家族以外に住宅に出入りする使用人た  
ちにも、注意が必要です。身元の信用でき  
る人物を雇用するとともに、もし不審な点  
があれば解雇するなどの対応も重要です。  
その上で、来訪者への対応などを指導し、  
安全対策を担う一員であるという自覚を持  
たせましょう。



特設ページは「ゴルゴ13 海外安全対策マニュアル」で検索！  
興味を持った方は「海外安全ホームページ」で検索！  
海外安全アプリは App Store または Google Play でダウンロード可能